

学校だより



つよく あかるく すなおに

学校教育目標

学ぶことを楽しみ、次の学びに意欲がもてる子どもを育てる

第7号

北海道教育大学附属特別支援学校 令和2年10月30日（金）発行

情報機器およびインターネット環境等にかかわる調査の結果について

生活支援部長 中村 耕太郎

すっかり秋めいて肌寒い季節となってまいりました。これまで以上に、健康に気を付けながら日々を過ごしていただきたいと思う毎日です。

さて、今回は、7月にご協力いただきました「情報機器およびインターネット環境等にかかわる調査」の結果についてご報告させていただきます。本調査を行うにあたって、保護者の皆様のご協力、大変感謝しております。お忙しい中、回答していただきありがとうございます。ありがとうございました。

この調査は、「情報通信機器およびインターネットに関する児童生徒への適切な指導と保護者向けの研修につなげるため」「動画配信や家庭学習での活用等、教育的可能性を探るため」というねらいのもと、本校在籍の保護者あてに実施しました。その結果、次のような本校の実態を把握することができました。

- 全てのご家庭がインターネットに接続する環境にありました。
- 所有している情報通信機器はスマートフォンが多くを占めていました。子どもが所持している情報通信機器の約5割がスマートフォンでした。
- データ等を印刷することができる家庭は約5割でした。
- コロナ禍における自粛生活の中、約7割の家庭で子どもたちの情報通信機器の利用が増えていました。
- 情報通信機器の利用時間は、小学部で「2時間～3時間」、中学部で「1時間～2時間」と「2時間～3時間」、高等部で「2時間～3時間」が最も多かったです。「4時間以上」との回答が最も多かったのは高等部で、約3割を占めていました（図.1）。

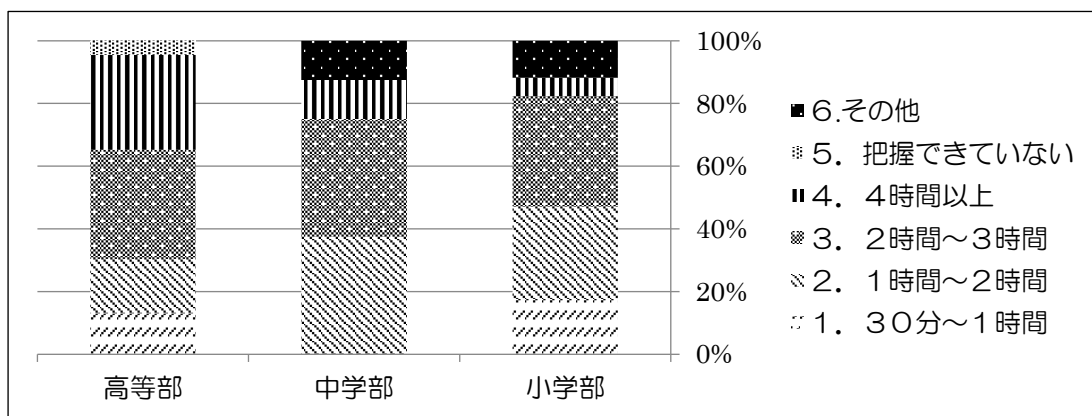


図1 情報機器の利用時間

- 情報通信機器の使用にかかわって、約7割の家庭が約束を設けて使用していることが分かりました（図2）。
→学年が上がるにつれ、約束事を設けて使わせていることがわかりました。
- 上記の約束事について、「フィルタリング、時間制限、限定、ペナルティ」などがありました（図3）。

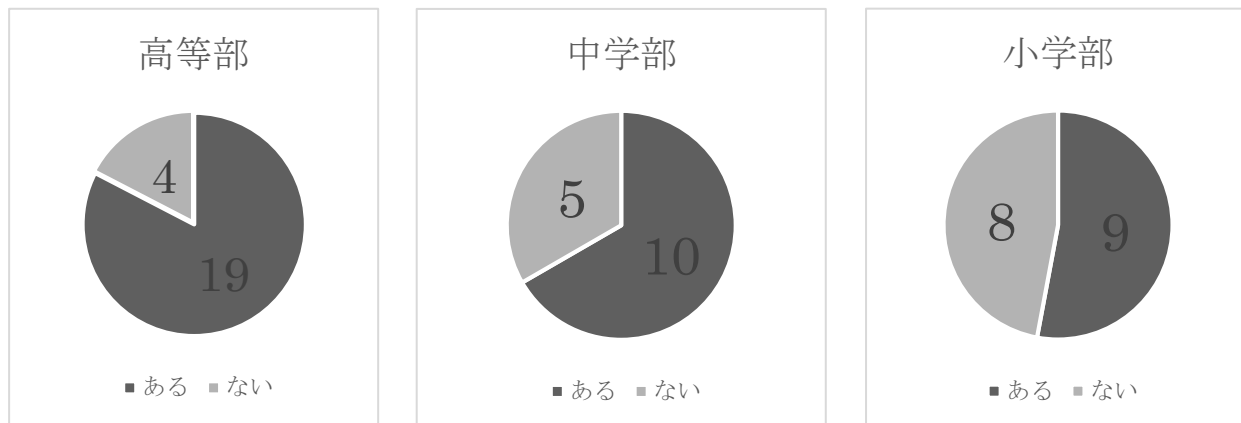


図2 情報機器を使用する際に約束事がありますか？

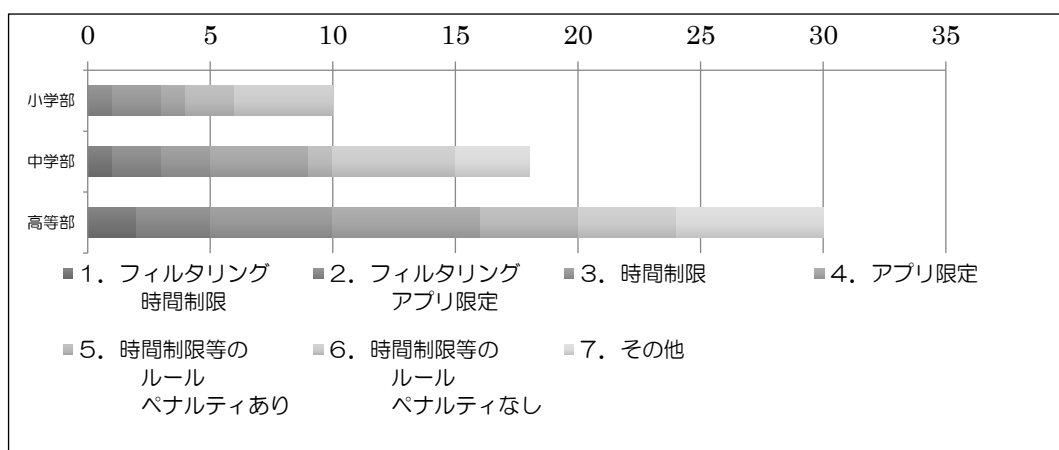


図3 情報機器を使用する際にどんな約束事をしていますか？

- 情報通信機器の使用に関して、約6割の家庭が何らかの不安感をもっていることが分かりました。
- 情報通信機器の使用に関する不安の多くは、「長時間の利用による健康への影響」が最も多く、以下「不正アプリやウイルスによる情報漏えい」や「SNSやネットで知り合った人による犯罪被害」がありました。

インターネットを活用した家庭学習として期待することとしては、

- 学校と児童生徒との双方向コミュニケーション（約5割）
- Web ページでのプリント等の絵記載や授業動画の配信（約4割）がありました。

本調査を受けて、本校では、以下のことを検討しております。

- ①児童生徒がインターネットの安心・安全な利用を学ぶ機会の設定
- ②保護者及び教職員の情報モラルに関する研修の実施
- ③再び臨時休業になった場合でも学習する機会を十分に保証することができるよう、各家庭の実情に応じた活用方法

本結果について、不明な点がございましたら、本校までお問い合わせください。引き続き本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

【お知らせ】12月の学部・学級懇談会は中止となりますが、学部ごとの茶話会を現在計画中です。詳細が決まり次第、改めてお知らせいたします。本日発行のPTA だよりも合わせてご覧ください。

11月の行事予定

日	曜日	行 事	日	曜日	行 事
2日	月	支援ミーティング（～20日）	25日	水	令和3年度入学者選考1日目
3日	火	文化の日	26日	木	令和3年度入学者選考2日目
10日	火	小学部校内作品展（～20日）	30日	月	合格者発表
24日	火	入学者選考前日準備（6時間放課）			教育実習Ⅴ期（～12月11日）